

新 評 論

2015

3

No.255

発行所 © 新 評 論 2015年
〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28
TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832
http://www.shinhyoron.co.jp
e-mail : shrn@shinhyoron.co.jp
振 替 00160-1-113487 価格税抜

開創1200年記念出版、金剛峯寺前管長・松長有慶氏へのインタビュー掲載。
観光ガイドブックでは絶対に知ることのできない高野山!

世界遺産マスターが語る 高野山

自分の中の仏に出逢う山

尾上恵治 著

◎日本で唯一「2015年に訪れるべき世界20選」に選ばれました!

◆ジャンル:世界遺産/和歌山の旅/高野山の歴史

二〇一四年秋、一七一年ぶりに金剛峯寺の「中門」が再建された。何を隠そう、この再建を取り仕切った堂宮大工こそが筆者である。タイトルに記されているように、和歌山県が認定している世界遺産マスターでも



再建工事中の「中門」

ある筆者は、高野山で生まれ育ち、これまで青年会議所での活動や本業などを通じてさまざまな文化・歴史を伝承してきた。そのような筆者が今回、開創一二〇〇年記念として、改めて高野山を見つめ直して広く紹介するのが本書である。これまで出版されている観光ガイドブックなどでは絶対に知ることのできない「高野山」が、本書で紹介されている。中門再建にまつわるエピソードをはじめとして、語られている高野山の文化・歴史、これらを読むと参詣・観光の仕方が間違

いなく変わるだろう。

筆者は次のように言っている。「高野山には日帰りではなく、ぜひ宿泊していただきたい。静かな座敷で落ち着いて精進料理をいただき、翌朝は本堂にて修行に参加して住職の法話によって心が洗われてこそ、記憶に残る旅になるのではないかと思っています。そして、朝食後、奥の院の参道を一の橋から奥の院御廟までゆつくりと参拝し、午後は壇上伽藍や靈宝館を丹念に拝観していただきたい。そうすることによって、修行体験として写経や阿字観に取り組もうとする心の余裕も生まれるのではないだろうか」

弘法大師空海が二〇〇年にわたって住み続けている高野山、宗派を問わない自由な聖地は、ナショナル・ジオグラフィックが「二〇一五年に訪れるべき世界のベスト20の場所」として日本で唯一選んだ場所でもある。ぜひ、本書を読んでから訪れていただきたい。

ISBN978-4-7948-1004-5 3月下旬刊

四六並製 一五六頁 予二二〇〇円

好評刊

熊野古道 みちくさひとりある記

総合編目子

三三〇〇円

著者 1960年生まれ。世界遺産マスター第2期生。堂宮大工・一級建築士・一級土木施工管理技師・特殊建築物調査資格者・金剛峯寺境内案内人。これまでに、重文金剛峯寺龍塀修理工事をはじめとして多数の重文・県文の修理を行っている。



東日本大震災では、福住町町内会が培ってきた町内会同士のネットワークがものをいった。震災直後、宮城県七ヶ宿町から貴重な野菜をいただいた共著者の菅原康雄さん(右)。

災害大国・日本。「備え」と「対応」は日常の助け合いから生まれる。ごく普通の町内会が取り組む「人命第一」の軽やかな実践。

仙台・福住町方式 減災の処方箋

一人の犠牲者も出さないために

菅原康雄・三好亜矢子

◆ジャンル：自主防災／災害支援／震災記録

ここ数年、地震や集中豪雨、崖崩れ、火山の噴火など各地で様々な災害が起きています。明日にも、日本のどこかで大規模な災害が起きてても何の不思議もありません。

宮城県仙台市東部の郊外にある福住町は、40年前に水田のあとに造成された新興住宅地であるため、水害や地震にたびたび襲われてきました。今から13年前に町内会会長に就任した共著者、菅原康雄さんは獣医師です。もの言わぬ動物たちの痛みや喜びに寄り添って生きてきた菅原さんは、「この世にただ一つの命」を守ることに敏感です。

町内会会長としてこれまで、「一人の犠牲者も出さない」という究極の「減災」を旗印に防火・防災活動に力を注いできました。一人暮らしの年配の方や障がいを持つ方など、いざというときに助けが必要な「重要支援者」のリスト作りや住民同士の助け合いをスムーズにするための名簿作成、自分たちで作成した防災マニュアルに基づく防火・防災訓練、さらには仙台市内外の町内会・市民団体との

「災害時相互協力協定」の呼びかけなど、そのユニークな手法は「福住町方式」と呼ばれ、全国で注目されています。

そして、これらの仕組みを根っこで支えているものが、普段の暮らしのなかでのちよっとした声かけや心遣いです。

「こみ出しのときにお年寄りに声をかける」、「通学する子どもたちに挨拶する」など、ご近所同士が交わすごくごくさりげない言葉の積み重ねが町内会全体をゆるやかに結んでいきます。このつながりこそが、災害時、大きな力を発揮します。福住町町内会が何も特別な存在ではありません。隣近所の助け合いは読者諸氏の町でも既に行われていることではないでしょうか。その土壌の上にさらに豊かな「減災」の花を咲かせるために、本書の「処方箋」が参考になれば望外の幸せです。(みよし・あやこ)

ISBN 978-4-7948-1001-4 3月刊
四六並製・予二〇〇頁 予一六〇〇円

好評刊 3・11以後を生きるヒント

〔普段篇の市民による「支縁の思考」〕
三好亜矢子・生江明編

二五〇〇円

著者 菅原康雄 1947年、宮城県塩竈市出身。宮城県仙台市宮城野区福住町町内会長。菅原動物病院院長。三好亜矢子 1956年、愛媛県松山市出身。家庭通信社記者。〔平和・人権・NGO—すべての人が安心して生きるために〕(共編著、2004)ほか。



メジャー・トランクライザー(抗精神病薬)の代表的な薬である「セロクエル25mg錠」

薬害被害者が語る“心のくすり”の真実——悪化・中毒・禁断症状の罠。薬物療法からの解放を求めて

のむな危険!

抗うつ薬・睡眠薬・安定剤・抗精神病薬の罠

北野 慶

◆ジャンル:薬害問題/社会/ノンフィクション

日本の精神医療が語られるとき、三三万人にのぼる入院患者数やその平均在院日数の長さが問題にされることはあっても、三二〇万人の精神疾患患者が日常的に受けている薬物療法の危険性が問題にされることはほとんどない。二一世紀に入って一〇〇万人にまで激増したうつ病患者と不安障害、不眠症など比較的軽微の軽い患者、症状の重い統合失調症患者などに同じような薬が処方されている。しかも普通に、抗うつ薬、抗不安薬、睡眠薬、抗精神病薬などの向精神薬が複数種類何錠も出されているのだ。なかでも抗不安薬、睡眠薬として用いられるベンゾジアゼピン系薬剤は、数十年も前から強い精神的・身体的依存性が指摘されているにもかかわらず、日本では世界一多く消費されている。

今から一四年以上前、自律神経失調症とパニック障害から心療内科を受診するようになった私は、いくらか通院してもいっそうに改善しない症状に疑問をもち、「薬をやめられない体になった」ことを薄々感じながらも、つい三年前まで、自分自身が向精神薬依存症(薬物中毒)になっていたことを自覚することがなかった。おそらく、睡眠薬を含む多くの向精

神薬服用患者が、現在もそのような状態に置かれているものと思われる。

本書は、私自身の向精神薬依存と断薬失敗の経験、苦しい離脱症状(禁断症状)と闘いながらも断薬に成功した人々の体験談をはじめとして、製薬業界と精神医学界がつくり出した、「薬が患者を生み、症状を悪化させるメカニズム」を明らかにする。それと同時に、断薬をサポートし、薬に頼らない精神医療を行っている数少ない施設も紹介しつつ、日本の薬漬け精神医療を患者・薬害被害者が主体となって変革していく道筋を模索する。

私のような薬害被害者をこれ以上つくり出さないために、向精神薬の危険性と被害の実態を一人でも多くの人に知ってもらいたい。(きたの・けい)

ISBN978-4-7948-1000-7 3月刊

四六並製 予二四〇頁 予二〇〇〇円

食べる? 食品セラム測定データ745
ちい (1100円)

放射能汚染が未来世代に及ぼすもの

科学を問、脱原発の思想を紡ぐ
藤田礼子編 (1100円)

好評刊
オンデマンド版
奥田由布子「二神塚子」サキヤン 一八〇〇円

好 評 刊
奥田由布子「二神塚子」サキヤン 一八〇〇円
廃炉に向けて(女性)として原発とは何ぞ
藤田礼子編 四六〇〇円

著者 1954年生まれ。1979年北海道大学文学部哲学科卒業。出版社勤務、日本語講師等を経て、韓国語翻訳者。著書に『極北のレイエム』(彩流社)、『コリア=ニッポン新研究』(拓植書房新社)、『亡国記』(現代書館、近刊)など。



釜ヶ崎の慰霊祭

孤独死、その看取りまでの生活を支える人々へのインタビュー。山谷、釜ヶ崎…そこから浮かび上がる支援者達のありのままの姿、現状。

孤独死の看取り

脱力★ファンタスティポ系 社会学シリーズ②

ドクターファンタスティポ★嶋守さやか

◆ジャンル:生活支援/精神保健福祉・社会福祉

沖繩・宮古島の精神障がい者支援を題材とした前著「せいしんしょうがいしゃの皆サマの、ステキすぎる毎日」の刊行から八年が経過。次はどんな話を書こうか……と考えた筆者、ドクターファンタスティポ★嶋守さやかは、「大都會の社会福祉について書いてみよう」と思い立つ。「日々の生活を支えるサービスを提供する社会福祉機関・施設だけでなく、仕事や娯楽、毎日の過ごし方を自分で好きなように選ぶことができる所」を探し、辿り着いた所が、裕福で社会福祉資源も豊かな東京・世田谷区とその対極のイメージの代表格である山谷、そして西の代表格大阪・釜ヶ崎だった。対照的なイメージのこれらの地域にあっても、等しくあったのは「孤独死」と「その看取り」であった。

筆者は孤独死、あるいはその看取りまでの生活を支える人々をインタビューし、積極的にフィールドワークを行った。そこで出会う人々が語ったこと、そして筆者自身が目や耳にしたこと、ありのまま本書で紹介している。取材対象者は、生活保護や介護保険サービスを受給しながら「ドヤ」で暮らす滞在客を世話し、その看取りの傍らで涙するホテル白根の女性経営者、医師に診療拒否された拳句

に孤独死した精神障がい者を支えた障害者就労継続支援B型事業所「ホームニー」の所長、そして釜ヶ崎で音楽活動をした結果、その関わりがホームレス達の自立生活支援となった即興楽団(DJ)である。インタビューでは、それぞれの支援内容とともに、支援者たちのライフスタイルや仕事、生活環境について語ってもらっている。印象的だったのは、取材対象者がすべて「家族ではないけれど、家族ごっこが本気になる。気持ちを通じ合う瞬間がある」という生活時間をもっていることだった。

ごく普通の日常生活ではなかなか知る機会のない地域で、社会福祉的な支援が実際にどのように行われているかを知ること、孤独死を看取ろうとする支援者たちの存在を身近に感じてもらえればありがたい。また、映画「ファンタスティポ」のテーマでもあった「家族愛とは何か」、を改めて考えていただければと思っている。

ISBN978-4-7948-1003-8 3月刊
四六並製 予二五六頁 予二〇〇〇円

本の
評
刊
の
嶋守さやか
せいしんしょうがいしゃの皆サマの、
ステキすぎる毎日
二〇〇〇円
脱力★ファンタスティポ系 社会学シリーズ①

著者 1971年、川崎市生まれ。桜花学園大学保育学部准教授。社会学博士。著書に「社会の実存と存在一汝を傷つけた槍だけが汝の傷を癒す」(共著、世界思想社、1998年)、「せいしんしょうがいしゃの皆サマの、ステキすぎる毎日」(2006年)がある。



間口の大きさが税金が決まる。(ハノイ)

成長するアジア市場。日本企業立地先としての魅力とリスクはどこにあるのか。アジア進出戦略のあり方を探る。

日本企業のアジア・バリューチェーン戦略(仮)

鈴木 洋太郎 編

◆ジャンル:海外進出企業・アジア市場論

日本企業のアジアへの進出先は、かつては中国に集中していたが、近年ではインドネシア、ベトナム、カンボジア、ミャンマーへと広域化し、日本企業は難しい「選択」を求められるようになってきた。つまり、アジアの多様な国・地域の立地環境上の魅力とリスクを把握しながら、どこの国・地域にどのような事業をどのように展開するのかという立地戦略のストーリーを構想することが重要となってきたわけである。この成功ストーリーの構築に際しては、以下に挙げる三つのポイントを考えることが不可欠となる。

第一は、「市場開拓の場所としてのアジア」である。日本企業立地先としてのアジア地域は、その経済成長に伴って、コスト削減の場所というよりも市場開拓の場所になってきている。アジア地域は資金上昇のリスクがあり、このリスク軽減のためにも現地の市場開拓が重要と言える。

第二は、「アジアにおけるバリューチェーンの現地化」である。進出先では、バリューチェーンの視点から現地化をどのように達成させるべきかを検討することが重要となる。本書では、企業内およ

び企業間におけるバリュー(価値)を生み出す「事業活動のつながり」をバリューチェーンと定義しており、原材料の調達や製品の出荷といったサプライチェーン(供給網)を中心にとらえつつも、物流面以外の様々な取引関係も考慮に入れている。

第三は、「現地化する日本企業のDNA」である。現地での取引が中心になり、現地人材が事業活動を担うようになって、日系現地法人は日本企業としてのアイデンティティを持続するべきであろう。そのためには、現地化する日本企業のDNAとは何かを考えることが重要となる。本書では、以上の三つのポイントを踏まえながら、日本企業立地先としてのアジアの魅力とリスクの観点から、日本企業のアジア進出戦略のあり方を探っている。(すずき・ゆうたろう)

ISBN 978-4-7918-1002-1
A5上製 予一八四頁 予二二〇〇円

3月上旬刊

刊本 (改訂版) 立地ウォーズ
評基夫 (企業・地域の成長戦略と場所のチカラ)
二四〇〇円

好端基夫
アジア市場を拓く
二八〇〇円

★第24回アジア太平洋賞特別賞

編者 1960年生まれ。大阪市立大学商学部教授。アジア太平洋研究所・主席研究員。九州大学大学院修了、博士(経済学)。産業立地論。著書「多国籍企業の立地と世界経済」(大明堂、1994年)、「産業立地のグローバル化」(大明堂、1999年)など多数。

大雪山 神々の遊び庭を読む

清水敏一・西原義弘

北海道の尾根「大雪山」と人との様々なかかわりを通して見えてくる知られざる逸話を拾い上げながら、山とともに歩む「写真の町」東川町の歴史と文化の魅力に迫る。

ISBN978-4-7948-0996-1 近刊

四六上製 二六〇頁 二七〇〇円

著者 清水敏一「大雪山房」主宰、編著書に「大雪山文献書誌(全4巻)」など、西原義弘 北海道タイムズ社勤務を経て、二〇一二年より東川町史編集専門員。

密詩集—絹の都

クリス・モスデル詩／キン・シオタニ訳

視点を変えたとまたく違った京都が見えてくる。キン・シオタニ描き下ろし版画収録。初翻訳作品！
A5並製 一九二頁 一八〇〇円

【オズマガジン】紹介
ISBN978-4-7948-0986-5



学生に賃金を

栗原康

大学生活を破壊する根本要因を取り除け！生と知の奪還に向けた「万人のための自由で無償の大学」像。

四六上製 二四八頁 二〇〇〇円

最新刊
ISBN978-4-7948-0995-7



棄国ノススメ

増田幸弘

「日本に住むことに、居心地の悪さを感じた。……とにかく生きにくいニッポンを離れたかった」。家族とともに「棄民生活」10年。新たな移民の時代を予感させる「日本脱出記」。

ISBN978-4-7948-0997-1 近刊

四六並製 二四八頁 予二二〇〇円

著者「一九六三年生まれフリーの編集者・記者・スロヴァキア在住。日本とヨーロッパを行き来して取材をおこなっている。主著『フランクのシナイナイ学校』(白水社)。

「健康」語りと日本社会

高尾将幸

「リスクと責任のポリティクス」「健康」の政策化が私たちの暮らしと制度に及ぼす影響。

四六並製 三三〇頁 三二〇〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-0983-4



フィンランド人が語るリアルライフ

ツルネン・マルティ

「光もあれば影もある」前参議院議員が母国の友人たちに取材。日本人への豊かなメッセージ。

四六並製 三三八頁 二八〇〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-0988-9



震災復興と地域産業 6

関 満博編

「復興を支えるNPO、社会企業家」、産業・雇用・生活の復興と新事業創出を支援するNPO、社会企業家の熱い挑戦に学ぶ。「社会を意識したその取り組みの意義を抽出」。

ISBN978-4-7948-0994-0 近刊

四六並製 二六四頁 二五〇〇円

編者 明星大学経済学部教授、一橋大学名誉教授、東日本各地の震災復興・産業再生関連アドバイザー、代表作「東日本大震災と地域産業復興1-3-IV」など、編著書多数。

私たちの国際学「学び」

奥田孝晴・推野信雄編

「大切なのは「正しい答え」ではない」国家間の関係だけを問題にしてきた従来の国際学、正解だけを求める学校型の教育。若い読者と共に、もう一つの学びの世界を創り出す。

ISBN978-4-7948-0999-5 近刊

四六並製 二六四頁 一八〇〇円

執筆者 共に文政大学国際学部教員、太学は編者、井上由佳、奥田孝晴、海津子、えみ、小島克己、推野信雄、堤澤泰子、本流、木正明、高井典子、林聖一、盛陽子、水沢秀彦、山田隆典、山崎千賀子、渡邊朝子。

本を売る

時代にあった
書籍の立ち位置を考える

インターネットを中心に、ここ十数年で新たに勃興した数多くの価値が、人々の余暇を巡って争奪戦を繰り広げるなか、出版業界はみるみる劣勢に立たされていきます。さらに、情報が溢れかえるに従ってひとつひとつが安価になり、それによって紙の書籍は相対的に高価なものになりつつあります。私としては技術革新や世の潮流に真っ向から反対するつもりなどありませんが、得られる利益の対価として、書籍は、(紙か電子かの議論は別にして)比較的高くても違和感なく認知される社会であって欲しいと思います。

今後インターネットは、ビッグデータとアルゴリズムを駆使して各個人に最適化された「情報」を効率よく提供するために、その精度を高めていくと言われています。それはそれで快適な部分もありますが、ふらりと立ち寄った書店で偶然見つけた書籍に幾度となく打ちのめされ、解釈の幅を広げてき

た読書人にとってはやや物足りなく、また少し抗ってみたくなるというのが人情かと思えます。

ネットの情報が、忙しい現代人に向けて話の肝を簡潔にまとめる傾向を強めているのとは対照的に、書籍が選奨している楽しみ方のひとつは「長文を遅読すること」です。名著といわれるものは大抵、多くの人にとっては一度通読しただけで咀嚼できるものでなく、十分に読み込んでいった細部に感動を隠しています。また、途中で文章から脱線して思索に耽ること

が快楽であつたりします。

その他にも本を読む理由は枚挙にいとまがありませんが、お金をかけずに、そこそこ楽しめるツールを手にした人たちにもう一度振り向いてもらうためには、個人で一企業レベルで手を尽くすだけでは不十分ではないでしょうか。より大きな単位で「結託」してアイデアを持ち寄り、書籍の魅力を啓蒙していくことが停滞を打破する鍵になると思います。

紀伊國屋書店新宿南店 瀧 一馬

本誌表示価格はすべて税抜です。

戦争を指導した
七人の男たち

マルク・フエロー／小野 潮訳

「並行する歴史」「われわれの時代の問題によりよく対処するため」に。アナル学派の重鎮が日常史研究の経験を生かして従来の分析を一新、新たな大戦像を提示。

ISBN978-4-7948-0971-1 近刊

四六上製 予五二〇頁 予五〇〇〇円

著者 Marc FERRO 一九二四年生まれ。ロンドン、映画史を中心とし、広い題材を扱う著述も多くある。雑誌「アナル」の共同主宰者。社会科学高等研究院の研究指導者。

アドラシオン

J・L・ナンシー／メランベルジエ真訳

〔キリスト教的西洋の脱構築〕単一の答えを求める近代的思考を凌駕し、「人間II世界」を取り戻す為。四六上製 二五〇頁 二七〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-0981-0

フラナリー・オコナーとの
和やかな日々

ロジエトリック・ママン編／田中浩司訳

「オーラル・ヒストリー」 神と人間の問題を描いた短篇の名手、夭折の作家の内奥に迫る。

四六上製 三〇〇頁 三四〇〇円

『毎日新聞』書評

ISBN978-4-7948-0984-1



ロマン主義文学と絵画

村田京子

〔19世紀フランス文学的画家たちの挑戦〕芸術家たちが表現を競い合った時代。バルザック、ゴーチエ、サンドラの作品に現れる「絵画の比喩」をジュンターの視点で分析。

ISBN978-4-7948-0982-8 近刊

A5並製 予三四頁 予二八〇〇円

著者 大阪府立大学女性学研究所センター教授。主著「女が本を執る時」19世紀フランス女性職業作家の誕生(二) 娼婦の肖像「ロマン主義的クルチザン」の系譜。

本を読む

ラテン・アメリカ

社会科学ハンドブック

「ラテン・アメリカは警告する」以来、久々に参考になりました。

60年近い「アルゼンチン・タンゴ」ファン（専ら聴くこと、ライブに行くこと）で、タンゴの歴史や曲の背景を考える上でも何度かこの国とその周辺国を旅行しましたが、その時を振り返りつつ、あらためて今の日本は10年いや20年遅れのラテン・アメリカ諸国？と思った。

（仙台市 佐藤善英 76歳）

ふつてもはれても

厳しい出版事情の中で良書を作つて下さり、ありがとうございます。子どもが育つ環境について考えさせられ大きな刺激を受けました。270枚以上の写真、113の「つぶやき」によって、リアルな子どもの姿が伝わってきたのも本

書の大きな魅力でした。今後もうした良書をつくり続けてください。

（日野市 中村博 50歳）

哲学者 内山節の世界

時代の変化に対しての変わらぬ思考回路、これを変えなければ、地球全体の人々が心豊かに生きてゆけないのに、それに気付かぬ人多くある。気付いても気付かぬ振りをする人、ああ！

（松阪市 近田将人 70歳）

好評刊

ラテン・アメリカ

社会科学ハンドブック

ラテン・アメリカ政経学会編 二七〇〇円

ふつてもはれても

（川和保育園の日々と1・3の「つぶやき」川和保育園編/寺田信太郎執筆
宮原洋一執筆/写真 二〇〇〇円

「昔はよかつた」と言うけれど

（戦前のマナー・モラルから考える）大庭秀宏 二〇〇〇円

哲学者 内山節の世界

（かがり火編集委員会編 二〇〇〇円

編集部から

ラテン・アメリカ政経学会創立50周年記念企画「ラテン・アメリカ社会科学ハンドブック」(昨年11月刊、本誌8頁。本誌25号の本誌でご紹介した)が、改めてその出版の意義を考へてみた。①「地域研究の学術成果を広く一般読者と共有」する目的で編まれた本書だが、そこには異なる利便的な知識・情報の受容とは異なる、もう一つの力強いメッセージが秘められている。②当学会会員で「昨年11月に急逝した佐野誠さん(遺著『99のための経済学』は「地域研究は何のためにあるのか」と問い、対象地域と自らの足元の地域とを結び往還型地域研究の重要性を説いた。例えばラテン・アメリカの負の経験に学ぶことは、我が国の官製ネオリベ(新自由主義)「スローガン」地方創生!地域自立!が孕む、功利一辺倒の最大の誤謬の核心に触れる道へと通じていくだろう。▼氏を継ぐ者たちと共にこの往還の思考の酒養を肝に命じたい。

営業部から

▼近3ヶ月(2014年10月、12月)弊社の書籍売上ベスト15をご紹介します。

- ①ふつてもはれても
- ②南国港町おばちゃん信金
- ③新編 医学部合格の極意(国公立編)
- ④ラテン・アメリカ社会科学ハンドブック
- ⑤密詩集 絹の都
- ⑥アドリオン
- ⑦東日本大震災と地域産業復興IV
- ⑧フィンランド人が語るリアルライフ
- ⑨新編 医学部合格の極意(私立編)
- ⑩「健康語り」と日本社会
- ⑪メッセンジャー 緑の森の使者
- ⑫「2015年度版」新・受験技法
- ⑬ギヴアー 記憶を注ぐ者
- ⑭フोटジャーナリストが見た世界
- ⑮明治の国際人 石井筆子

SBC(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料!各種特典あり!お申し込みを!

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内内容を紹介する月刊P.R誌「新評論」を定期的に「ご送付」しております。
入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくこと、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。
ご入会希望の方は小社P.O.フォームからお送りいただくか、メール、またはハガキにて、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の入会確認証をお送りいたします。